

いれ歯君 いらつとやい

入れ歯を^作て^もろ^うて^いる

自分の^体に^差しい^もう^が一^つか^らう

い^い方^方 ^ンラ^リと^並ん^だ 白^い歯

期待^どれ^ア ^ばい 知^りあ^いに^ニん^存に^あれ^い

あせ^たい

しか^しその^うら^に存^るの^に瞬^間が^かか^と何

思^うて^いる^かう^に

完^全に^上下^の歯^をみ^たけ^ず一^とみ^り何^の種^類も

あ^かう^に 今^日は^上下^新の^しい^歯を^あけ^た

あ^を何^もう^てい^ない^と思^うて^いる^にい^は

入れ^歯を^あけ^てい^たい^だい^し ^あけ^ずの^こも^うい^ない^な

又^いた^い ^又あ^けず^う ^又い^たい^し

四^下分^くう^いか^けて ^あつ^との^こと

あ^いた^あし^た ^あら^う金^歯を^あけ^て思^うた^あ ^そう^は

い^かか^い ^下の^いれ^歯が^大き^くて ^そ今^も

で^のあ^いれ^歯さ^いい^のか^もし^い ^いれ^歯 ^いり^かし

あ^らう^あら^うが^あ ^あり^いは^か ^今層^は入^れ歯^をけ^ず

あ^のあ^らう^あ ^あら^うは^あ ^入れ^歯を^あけ^ず

あ^らう^あ ^あら^う ^あら^う ^あら^う

なれてそのうちには 自らの歯のふろに寄る

多し かずいかに

ゆきし けさ来るころ、 ひとりごとを言つて

その口には 会話は不明

おかしさを言つて アイロニー と言つて する

これまたまた

お茶を飲んでみる

おちろほほほ 少しづつ 99

大口でのもうと すると 下の歯にあるわが

ほほの肉細いといふ

かんばれ 口の 入れ歯をむかえるのに

あがり ぶかえの心が 寄るたすかひに

来週 笑ふの来るのを 努力をしよう

たゆむ は又けあつて くるよねは いい

2019
12/9